

製品名 : Ez Run C+ (AE-1412)  
会社名 : アトー株式会社  
管理番号 : A0003

作成日 : 2010/10/07  
改定日 : 2026/04/24

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : Ez Run C+  
製品コード : AE-1412

#### 会社情報

会社名 : アトー株式会社  
住所 : 111-0041 東京都台東区元浅草 3-2-2  
担当部門 : 本社 顧客部  
電話番号 : 03-5827-4861  
ファックス番号 : 03-5827-6647  
緊急連絡先 : 03-5827-4871  
使用用途 : 試験研究用

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類 :

急性毒性 (経口) : 区分 4  
急性毒性 (経皮) : 区分 2  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1  
特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分 2 中枢神経系  
水生環境有害性(急性) : 区分 2

#### GHS ラベル要素 :

危険



#### 危険有害性情報

H302 飲み込むと有害  
H310 皮膚に接触すると生命に危険  
H318 重篤な眼の損傷  
H371 中枢神経系の障害のおそれ  
H401 水生生物に毒性

製品名：Ez Run C+ (AE-1412)  
会社名：アトー株式会社  
管理番号：A0003

作成日：2010/10/07  
改定日：2026/04/24

注意書き：

[安全対策]

- P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- P262 眼、皮膚、衣類につけないこと。
- P264 取扱い後は手や顔をよく洗うこと。
- P264+265 取扱い後は手や顔をよく洗うこと。眼を触らないこと。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

[応急措置]

- P301+P317 飲み込んだ場合：医療処置を受けること。
- P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
- P305+P354+P338 眼に入った場合：すぐに水で数分間洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P308+P316 ばく露又はその懸念がある場合：すぐに救急の医療処置を受けること。
- P316 すぐに救急の医療処置を受けること。
- P317 医療処置を受けること。
- P330 口をすすぐこと。
- P361+P364 汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

[保管]

- P405 施錠して保管すること。

[廃棄]

- P501 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し、廃棄すること。

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

製品名 : Ez Run C+ (AE-1412)  
 会社名 : アトー株式会社  
 管理番号 : A0003

作成日 : 2010/10/07  
 改定日 : 2026/04/24

成分	含有量(%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
ドデシル硫酸ナトリウム	4.1%	CH <sub>3</sub> (CH <sub>2</sub> ) <sub>11</sub> OSO <sub>3</sub> Na	2-1679	151-21-3
2-アミノ-3-メルカプトプロピオン酸	25%>	C <sub>3</sub> H <sub>7</sub> N <sub>2</sub> S	9-1590	52-90-4

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移すこと。医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。医師に連絡すること。
- 眼に入った場合 : 眼に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。  
 もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。  
 その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。  
 ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。
- 応急処置をする者の保護 : 個人用保護具を着用すること。

#### 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) , 泡, 粉末消火剤, 砂
- 使ってはならない消火剤 : 利用可能な情報はない
- 特有の消火方法 : 利用可能な情報はない
- 火災時の特有危険有害性 : 熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
- 消火を行なう者の保護 : 個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置  
 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者の以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。
- 環境に対する注意事項  
 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材  
 : 飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。  
 こぼした場所は大量の水で洗い流す。

製品名：Ez Run C+ (AE-1412)  
会社名：アトー株式会社  
管理番号：A0003

作成日：2010/10/07  
改定日：2026/04/24

回収、中和

：利用可能な情報はない

二次災害の防止策

：環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。再使用前に汚染された衣服を洗う。

## 7. 取扱い上及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

：強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

注意事項

：容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

：皮膚、眼、衣服との接触を避ける。

個人用保護具を着用すること。

保管

安全な保管条件

：保管条件直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。

安全な容器包装材料

：ポリエチレン、ポリプロピレン

混触禁止物質

：強酸化剤

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

：屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

製品名 : Ez Run C+ (AE-1412)  
 会社名 : アトー株式会社  
 管理番号 : A0003

作成日 : 2010/10/07  
 改定日 : 2026/04/24

#### 管理濃度

: 作業環境評価基準設定されていない。

#### 保護具

呼吸器用保護具	防塵マスク
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	側板付き保護眼鏡 (必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。保護長靴

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的状態

形状	: 粉末
色	: 白色
臭い	: 特有臭
pH	: データなし

### 物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点	: データなし
沸騰範囲	: データなし
融点	: データなし
引火点	: データなし
発火点	: データなし
爆発特性	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
密度	: データなし

### 溶解性

溶媒に対する溶解性 : データなし

### オクタノール/水分配係数

: データなし

### その他データ

: なし

## 10. 安定性及び反応性

### 安定性

安定性推奨保管条件下で安定。

製品名 : Ez Run C+ (AE-1412)  
会社名 : アトー株式会社  
管理番号 : A0003

作成日 : 2010/10/07  
改定日 : 2026/04/24

反応性 データなし

危険有害反応可能性

通常の処理ではなし。

避けるべき条件

高温と直射日光

混触危険物質

強酸化剤

危険有害な分解生成物

一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) , 硫黄酸化物 (SO<sub>x</sub>)

## 11. 有害性情報

ドデシル硫酸ナトリウム (CAS 番号 151-21-3)

急性毒性 (経口) : ラットを用いた経口投与試験の LD50 値 1,200 mg/kg (SIDS(1991))、2,730 mg/kg (EHC 169(1996))

急性毒性 (経皮) : ウサギを用いた経皮投与試験の LD50 値 約 600 mg/kg (SIDS(1991))、580 mg/kg (EHC 169(1996))

急性毒性 (吸入 : ガス) : 分類対象外

急性毒性 (吸入 : 蒸気) : データがないので分類できない

急性毒性 (吸入 : 粉塵、ミスト) : データがないので分類できない。

皮膚腐食性・刺激性 : ウサギを用いた皮膚刺激性/腐食性試験 (OECD TG 404、GLP) において、PII : 6.0, 6.78 から「highly irritating」 (ECETOC TR66(1995)、IUCLID(2000))と記述されているが、回復性に関する記述がない。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

: ウサギを用いた眼刺激性/腐食性試験 (OECD TG 405、GLP) において、「Modified Maximum Average Scores: 16.00; moderately irritating, 59.17; irritating, 60.50; irritating」 (ECETOC TR48(1992)、IUCLID(2000))と記述されている。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性 : 分類できない

呼吸器感作性 : データがないので分類できない。

皮膚感作性 : 区分外

生殖細胞変異原性 : 区分外

発がん性 : 分類できない

製品名 : Ez Run C+ (AE-1412)  
 会社名 : アトー株式会社  
 管理番号 : A0003

作成日 : 2010/10/07  
 改定日 : 2026/04/24

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器・全身毒性、単回暴露

: マウス、ウサギ、モルモットでのエアロゾル暴露で気道刺激性がみられる (IUCLID(2000))、短期暴露で気道刺激性がみられる (ICSC(1997)) との記述がある

特定標的臓器・全身毒性、反復暴露

: ラットを用いた 2 週間混餌投与試験において「肝臓重量増加がみられたラットの病理組織検査で、肝細胞がわずかに腫脹し分裂肝細胞数が増加していた。これらは本物質の投与に順応したものと考えられる。また、腎尿細管の上皮細胞の空胞変性、腎糸球体の萎縮がみられた」(EHC 169(1996)) 旨の記述がある。

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 (急性) : 甲殻類(アメリカンロブスター)の 96 時間 LC50 = 0.72mg/L(SIDS, 1997)。

水生環境有害性 (慢性) : 急速分解性があり (SIDS, 1997)、生物蓄積性が無い (LogKow = 1.6, PHYSPROP Database, 2008) と推測されることから区分外とした。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 焼却法

スクラバーを備具した焼却炉の火室に噴霧して焼却する。

これを含む排水は活性汚泥等の処理により清浄にしてから排出する。

廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。

上記方法による処理が出来ない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器・包装 : 多量の水で洗浄後、容器の種類に応じて処分する。

## 14. 輸送上の注意

国連分類 : 非該当

国連番号 : 非該当

輸送の特定の安全対策及び条件

: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

製品名 : Ez Run C+ (AE-1412)  
会社名 : アトー株式会社  
管理番号 : A0003

作成日 : 2010/10/07  
改定日 : 2026/04/24

## 15. 適応法令

化学物質管理促進法	: 第1種指定化学物質 No. 275 (法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
労働安全衛生法	: 規則別表第2の1324 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条) : 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2)
毒物及び劇物取締法	: 非該当
化審法	: 優先評価化学物質 (法第2条第5項)
消防法	: 非該当
水質汚濁防止法	: 非該当
危険物船舶運送及び貯蔵規則	: 有害性物質 (危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	: その他の有害物質 (施行規則第194条危険物告示別表第1)
海洋汚染防止法	: 非該当
火薬取締法	: 非該当
高压ガス保安法	: 非該当

## 16. その他

本安全データシート (SDS) は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の手続きを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用方法に適した安全対策を実施してください。また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。